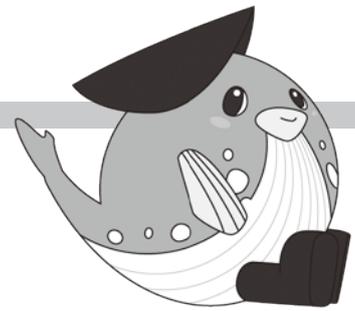


決算報告



圃財政課(☎231-1160)

◆総合的所見

活力あるまちであり続け、市民の皆さんが夢を語り、希望をかなえることができる「希望の街・下関」を実現するため、「未来へと躍進する街」「力強く躍動する街」「安全・安心の街」「改革に挑む街」の4つの視点を柱とした諸施策を、着実に実行しました。

また、新型コロナウイルス感染症対策を中心とした社会的課題に対応するため、10回にわたる補正予算を編成し、感染防止対策・医療提供体制の強化や、事業者に対する事業継続支援、子育て世帯への生活支援等の医療・経済対策を実施しました。

一般会計の歳入歳出差引決算額(形式収支)は47億2915万円でした。このうち翌年度へ繰り越すべき財源は4億1028万円、形式収支から翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いた実質収支は43億1887万円の黒字となりました。地方公共団体の一般財源の標準規模に対する実質収支額の割合(実質収支比率)は6.3%であり、これは、おおむね望ましいとされる3.5%の範囲を上回っています。

決算書は、市ホームページや市役所本庁舎西棟1階、各総合支所、本庁各支所、各図書館でご覧いただけます。

家計に例えると

令和3年度の一般会計歳入歳出決算額を、市の人口(252,413人/令和4年3月31日現在)で割ってみました。

- 支出(歳出)**
- ▷食費・教育費・公共料金・生活用品費など(人件費・物件費)…新型コロナウイルスワクチン予防接種事業(物件費)の増により大きく増加
 - ▷医療費(扶助費)…臨時特別給付金給付事業や子育て世帯への臨時特別給付金給付事業の増により大きく増加
 - ▷交際費など(補助費など)…特別定額給付金給付事業の終了により大きく減少
 - ▷預金(積立金)…地方交付税の追加算定分を基金に積み立てたことにより増加

- 収入(歳入)**
- ▷給料(諸手当)(各種交付金・地方交付税)…地方交付税や地方消費税交付金の増により大きく増加
 - ▷親からの援助(国県支出金)…特別定額給付金給付事業の終了により大きく減少
 - ▷預金引き出し(繰入金)…基金の取り崩しの減により減少
 - ▷不動産収入・利子(財産収入など)…ポートレース事業収入の減により減少

名称	令和2年度	令和3年度	割合
食費・教育費・公共料金・生活用品費など(人件費・物件費)	14万5千円	15万3千円	30.7%
医療費(扶助費)	10万8千円	13万7千円	27.5%
ローン返済(公債費)	5万4千円	5万5千円	11.1%
子への仕送り(繰出金)	6万円	6万円	12.1%
交際費など(補助費など)	14万5千円	4万4千円	8.8%
家の修繕・改築など(投資的経費など)	3万8千円	3万6千円	7.2%
預金(積立金)	1万円	1万3千円	2.6%
合計	56万円	49万8千円	100.0%

名称	令和2年度	令和3年度	割合
給料(基本給)(市税)	12万7千円	12万8千円	24.8%
給料(諸手当)(各種交付金・地方交付税)	13万円	14万7千円	28.5%
パート収入(使用料・手数料など)	1万4千円	1万5千円	2.9%
親からの援助(国県支出金)	21万6千円	15万4千円	29.8%
ローンの借り入れ(市債)	3万6千円	3万4千円	6.6%
預金引き出し(繰入金)	1万3千円	3千円	0.6%
不動産収入・利子(財産収入など)	2万5千円	2万3千円	4.5%
前月の残り(繰越金)	1万円	1万2千円	2.3%
合計	57万1千円	51万6千円	100.0%

新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染症対策として、令和3年度は主に次のような支援を実施しました。

【主な事業】

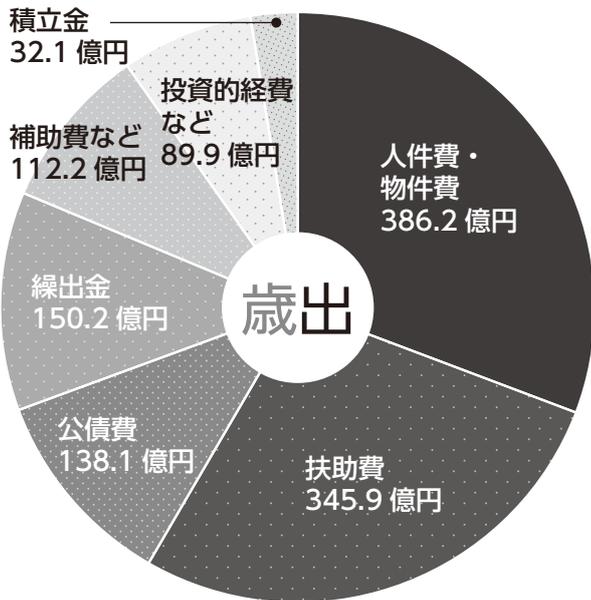
- ▷住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業
- ▷子育て世帯生活支援特別給付金給付事業
- ▷子育て世帯への臨時特別給付金給付事業

- ▷子育て世帯応援特別給付金給付事業
- ▷新型コロナウイルス感染症宿泊療養事業
- ▷新型コロナウイルスワクチン予防接種事業
- ▷事業継続緊急給付金
- ▷しものせき安心飲食店応援給付金
- ▷プレミアム付商品券発行支援事業
- ▷さらにお得に！下関おトククーポン事業

※ページ内の表やグラフは、金額を四捨五入しているため、内訳の合計は一致しない場合があります

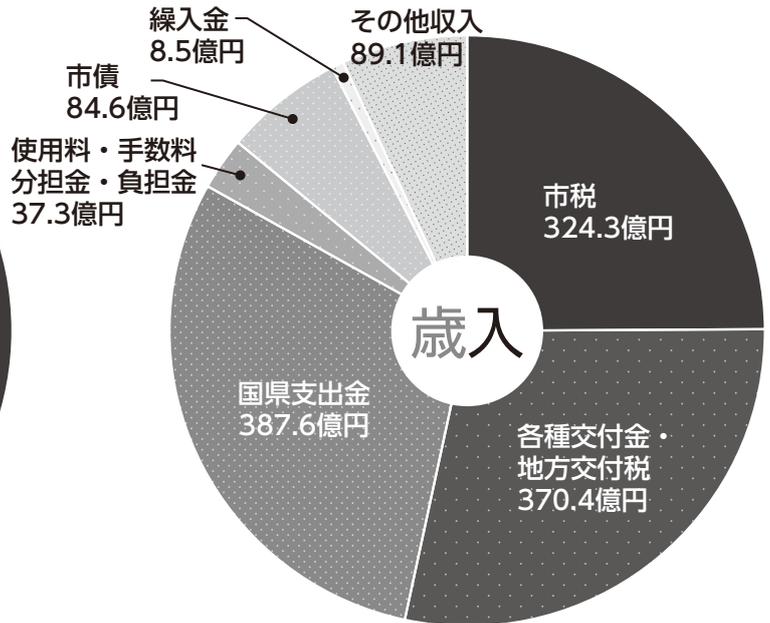
一般会計 歳出

1,254億5,249万円



一般会計 歳入

1,301億8,164万円



基金・市債

名称	令和2年度	令和3年度
基金残高	151億6,125万円	151億3,175万円
市債現在高	1,236億7,705万円	1,187億8,644万円

※実質公債費比率…公債費などの比重を示す比率
 ※将来負担比率…地方債残高のほか一般会計などが将来負担すべき実質的な負担をとらえた比率
 ※資金不足比率…事業規模に占める資金不足額の比率

健全化判断比率

名称	令和2年度	令和3年度	早期健全化基準
実質公債費比率	9.8%	10.1%	25.0%
将来負担比率	75.8%	64.1%	350.0%

資金不足比率

名称	令和2年度	令和3年度	経営健全化基準
資金不足比率	-	-	20.0%

主な取り組み

未来へと躍進する街



本市初の小中一貫教育に取り組む名陵学園開校のため、児童増に伴う校舎や空調設備等の改修を実施。また、地域ポータルサイト「しもまちプラス」を構築し、スマートシティ推進の第一弾として提供しました。

力強く躍動する街



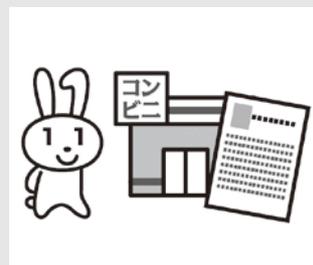
農業の人手不足の解消等のため、自動操舵機能付トラクターやドローン等スマート農機導入経費の一部を支援。また、火の山地区の観光資源の活用方法を精査し、区域の一部の測量を実施しました。

安全・安心の街



老朽化していた夜間急病診療所について、新しい診療所と利用者の駐車場を整備。また、特定不妊治療(体外受精及び顕微授精)の所得制限要件の撤廃等を行い、経済的負担の軽減を図りました。

改革に挑む街



マイナンバーカードを使って、コンビニ等で戸籍や税証明書が取得できるようシステム改修。また、電子決裁機能やテレワーク環境を整備するなど、スピーディで機能的な行政の実現を図りました。